


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年 5 月 15 日

山北町議会議長 児玉洋一 殿

受付番号	第3号	質問議員	1番	瀬戸 恵津子 
件名	高齢者が安心して暮らせるまちづくりを			
要 旨				
<p>コロナ禍により経済活動や住民生活への影響が、徐々に深刻な状況になっている。なかでも、高齢者の方が外出自粛や町行事の中止等によって運動や社会参加等の機会が減少し、健康の維持にも影響がでており、住み慣れた自宅暮らしの継続に対する支援の見直しが、重要であると考え質問する。</p> <p>①緊急通報サービス事業は、一人暮らしの高齢者及び障がい者の世帯に対するサービスだが、利用基準の見直しをすることにより、安心が担保される方が増えると考え。しかし、そのことが民生委員の負担にならないように方策を考える必要もあり、デジタルの活用を視野に見直しを考えて取り組むべきでは。</p> <p>②買い物難民と言われる近くに商店のない方への支援として移送サービス等があるが、帰宅時に荷物が増え配送を求める声も聴いている。一方で、町中に居住しているが移送サービスの支援を受けられない方もおり、町内循環バスの回数券を配布されていても路線沿線でないと利用ができない。そのような方へのサービスとして、商店・商工会・地域住民・行政が連携し、地元商店の宅配サービスでの支援を行う考えは。</p> <p>③健康寿命を延ばすためには、介護保険で要支援の認定に至らない方の筋力増強が必須であり、筋力は訓練で何歳になっても増強できることは広く認識されている。また、早い時期にやれば効果的とも聴く。そこで、町として65歳以上の方を対象に筋力増強事業に取り組む考えは。</p>				